

各位

タカノ株式会社

「建築・建材展 2012」にオーニングとシート型太陽電池を融合した次世代スマートエクステリア「Solar-Power Awning & Screen(ソーラーパワーオーニング・スクリーン)」を出展

タカノ株式会社(代表取締役社長 鷹野準 以下、タカノ)は、2012年3月6日(火)から2012年3月9日(金)まで東京ビッグサイトで開催される「第18回 建築・建材展 2012」において、三菱化学株式会社の協力のもと、開発を行ってきたスマートエクステリア「Solar-Power Awning & Screen(ソーラーパワーオーニング・スクリーン)」を参考出展いたします。

この「Solar-Power Awning & Screen」は、オーニング本来の日よけとしての機能に加え、遮った光を捨てるのではなくシート型太陽電池によりエネルギー源として利用することで「省エネと創エネの両立」という新たな価値を生み出すものであります。

当社新開発のスタイリッシュなデザインのオーニングに、三菱化学株式会社の協力により、軽量・薄型で信頼性に優れるシート型太陽電池をシート材に採用し、建物や敷地の美観と利便性を損なうことなく、急速な普及が見込まれるスマートコミュニティにおいて新たなシーンを創出いたします。

「第18回 建築・建材展 2012」では、建築物の窓面設置となる「スクリーンタイプ」、屋外へ独立設置する「自立タイプ」の2タイプを展示いたします。

「スクリーンタイプ」は、オフィスビル、集合住宅、ショッピングモールなどのエントランスや窓など、従来のガラス基板型太陽電池では重量や安全性の問題から施工が難しい場所に設置可能なものであります。また、「自立タイプ」は工場、公園、高速道路サービスエリアの緑地など夜間照明などの電源を引くのに費用や手間がかかる場所に設置し、オーニングに付属した再生可能エネルギーを用いた照明を配置可能なものであります。

「Solar-Power Awning & Screen」の特徴

- ・シート型太陽電池と組み合わせることで、オーニング本来のおしゃれな外観を損なうことなく「省エネと創エネ」を両立
- ・建築物の窓やエントランスなど、従来のガラス基板型太陽電池では重量や安全性の問題から施工が難しいところにも簡易に施工可能
- ・工場、公園、高速道路サービスエリアの緑地など、夜間照明などの電源を引くのに費用や手間がかかる場所に、オーニングに付属した再生可能エネルギーを用いた照明を配置可能

スマートエクステリアとは

エクステリアとエレクトロニクスの技術の融合により、スマートコミュニティ等へ再生可能エネルギーとエクステリアを組み合わせ、新しい価値を提供する製品概念であります。エクステリアとエレクトロニクスの技術分野双方の実績を持つタカノがスマートエクステリアを提案しております。なお、「Solar-Power Awning & Screen」がその提案の第一弾の製品となります。

窓面設置タイプ



独立設置(自立電源) タイプ



本件に関するお問い合わせ

タカノ株式会社 新事業開発部 TEL:03-6206-0608